『大衆文化』 既刊号目次

創刊準備号（二〇〇八年三月）

［口絵］乱歩/喧騒の車町時代（昭和八～九年）

創刊の辞……藤井淑禎

庶民モラルとしての「任侠」とは何か―佐藤忠男『長谷川伸論―義理人情とは何か―』をめぐって―
……筒井清忠……1

市川昆の「こころ」……藤井淑禎……9

舞台劇『放浪記』をめぐって－テクスト＜林芙美子＞の行方―……羽矢みずき……18

雲を凌ぐ―「押絵と旅する男」と浅草十二階―……丹羽みさと……30

大衆娯楽雑誌『平凡』と評論家大宅壮一―ふたつの研究から見えてくるもの―
……阪本博志……39

中国における日本の大衆文化研究の現状と展望……王　成……45

江戸サブカル紀行―八百屋お七と岡山―……渡辺憲司……57

翻刻　二銭銅貨……落合教幸・藤井淑禎……63

編集後記……石川　巧……70

創刊号（二〇〇九年四月）

［口絵］張ホテルの乱歩／郊外への第一歩（昭和九年）

［巻頭エッセイ］「二十面相」世代の乱歩観……紀田順一郎

酸素カフェテリアと死者（ネクロ）の町（ポリス）―大衆情報消費社会における酸素マスク表象―
……原　克……1

乱歩と大東京……藤井淑禎……11

「九州演劇」とその時代……石川　巧……21

日本におけるルバーシカ着用の起源をめぐって……小林　実……37

昭和十四年、「犯人」形成の新たな試み―江戸川乱歩「暗黒星」論―……落合教幸……53

韓国における論介と春香の受容……岩谷めぐみ……63

天満天神繁昌亭の成立と展開……恩田雅和……75

歌舞伎としての乱歩―小説『人間豹』から歌舞伎『江戸宵闇妖鉤爪』へ―　松本和也……83

韓国における日本大衆文化の受容について……金　恵珍……95

編集後記……石川　巧……117

第二号（二〇〇九年九月）

［口絵］作家専業へ／「D 坂の殺人事件」（大正十三年）

翻刻 「D 坂の殺人事件」草稿……落合教幸……2
「依頼型」から「巻き込まれ型」へ―江戸川乱歩「D 坂の殺人事件」草稿覚書―
……落合教幸……37
校門の外をめざした学校唱歌―卒業式による広報戦略―……有本真紀……44
「月の沙漠」の系譜学―流行歌とアラビア表象― ……舌津智之……59
貸本屋と読書サークルの時代―吉川英治『宮本武蔵』と大衆読者― ……藤井淑禎……69
オバマ報道を考える ……黄 盛彬……79
戦後台湾における日本大衆文化の受容―アイデンティティの構築と脱構築―
……林 鴻亦……89
「九州演劇」総目次……石川 巧……101
編集後記……藤井淑禎……112

第三号(二〇一〇年四月)

[口絵]中日・美男子カタログ
中国の芝居の文系男子問題……細井尚子……2
メディアミクス文化史のなかの江戸川乱歩と横溝正史 ……江藤茂博……20
映画のなかのカメラ……三浦雅弘……32
俳諧大衆化の二方向―形式の縮小化と数量の拡大化― ……加藤定彦……40
大宅壮一の文化大革命レポート……藤井淑禎……53
ワルキューレはさまよう ……平山城児……66
見るものと見られるものをめぐって―結城座『乱歩・白昼夢』―……後藤隆基……71
翻刻「人間椅子」草稿……落合教幸……76
編集後記……藤井淑禎……85

第四号(二〇一〇年九月)

[口絵]明治戯作の世界―「『時勢走馬燈(じせいまはりどうろう) 一名 親父肝潰誌』という書物」より―
大衆メディア史を反射する「鏡の女」―女優・ひし美ゆり子の足跡―……樋口尚文……2
嬰殺旗本探偵実話 断ち切られたものたちの闇……浜田雄介……12
窯変・橋本治―告白―……後藤和彦……24
「男女共同参画社会」をめぐる一考察―「第三次男女共同参画基本計画」策定の年にあたって―
……近藤 弘……37
『風と共に去りぬ』と戦後日本人 ……藤井淑禎……46
『時勢走馬燈(じせいまはりどうろう) 一名 親父肝潰誌』という書物 ……池田一彦……61
『明烏後正夢』における説経祭文の受容―人情本と大衆芸能―……坂口香恵……73

編集後記……藤井淑禎……81

第五号(二〇一一年四月)

[口絵]ベル・エポックの自動車文学
パノラマ文化史管見―『パノラマ島奇談』の余白に―……副島博彦……2
ルパン誕生前のルブラン―スピードの魅惑―……坂本浩也……10
漢字と日本語・日本語教育……沖森卓也……21
大衆作家が描いた<安保>―石坂洋次郎『あいつと私』と舟橋聖一『エネルギイ』
……藤井淑禎……35
円朝の現在(いま)……宮　信明……49
砂書房版『松本清張研究』奮闘記……田中伸和……60
翻刻「活動写真のトリツクを論ず。」……落合教幸……69
編集後記……藤井淑禎……88

第六号(二〇一一年九月)

[口絵]漱石と鎌倉―「紅が谷の青い空・再説」より
―飄亭、不折、子規と三陸大津波―「海嘯」十四句をめぐって―……加藤定彦……2
紅(べに)が谷(やつ)の青い空・再説―『行人』『心』、二つの鎌倉……藤井淑禎……10
オペラへの迷い言……守屋省吾……28
占領期の大宅壮一をめぐる「点と線」……阪本博志……36
大正期における『歌舞伎新報』の復活……後藤隆基……43
翻刻「映画論」……落合教幸……57
編集後記……藤井淑禎……69

第七号(二〇一二年四月)

[口絵]熊谷市冑山の根岸家住宅長屋門
原発建設時代の日本のSFアニメ……秦　剛……2
熊谷市冑山に残る歴史遺産―根岸家住宅長屋門について―……横山晋一……11
三島由紀夫 vs. 増村保造―映画「からっ風野郎」とその後の三島の身体イメージをめぐって―
……安　智史……19
映画『男はつらいよ』にみる活版印刷……滝口富夫……33
『女の一生』はなぜ『人形の家』に勝てたのか……藤井淑禎……44
俵藤丈夫編集長下の『歌舞伎新報』……後藤隆基……62

サイレント映画脚本の周辺 …… 若井尚子 ……78
翻刻「トリック写真の研究」 …… 落合教幸 ……88
編集後記 …… 藤井淑禎 ……131

第八号(二〇一三年一月)

[口絵]江戸川乱歩　色紙
映像メディアの力―中国における清張ミステリーの受容― …… 王　成 ……2
スキャンダルの両義性―明治の女学生バッシングから「新しい女」へ …… 岡田章子 …… 12
川上音二郎と竹越與三郎 …… 後藤隆基 …… 21
囚われない三三―「柳家三三で北村薫。」評― …… 大塩竜也 ……34
翻刻「死」 …… 落合教幸 ……43
編集後記 …… 落合教幸 ……59

第九号(二〇一三年九月)

[口絵]大衆文化九号　資料
＜文壇作家＞時代の松本清張・Ⅰ―「多芸は無芸」の危うさのなかで― 藤井淑禎 ……2
『ソヴェト文化』総目次 …… 吉田則昭 …… 16
二代目団十郎と江戸の開帳興行―不動明王を中心に …… ビュールク・トーヴェ ……30
亀井勝一郎「読書の態度と実際」(一九四二年)－翻刻と解題― …… 赤堀杏奈 ……49
江戸川乱歩『心理試験』の精神分析―典拠から技法へ、すなわちユングからラカンへ―
…… 中原雅人 ……62
翻刻「踊る一寸法師」草稿 …… 落合教幸 ……76
編集後記 …… 落合教幸 ……83

第十号(二〇一四年三月)

[口絵]母校・大阪府立茨木高等学校の創立七〇周年記念講演会での大宅壮一
日本人の蔵書志向と江戸川乱歩 …… 紀田順一郎 ……2
ポンスから二十面相へ―蒐集家としての怪盗の肖像― …… 菅谷憲興 ……9
夏目漱石『門』の御米について …… 藤井淑禎 ……20
＜老い＞の中の獅子文六／岩田豊雄―『可否道』「出る幕」― …… 米山大樹 …… 31
中学生時代の大宅壮一―時事新報社発行の雑誌『少年』への投稿活動と学業成績―
…… 阪本博志 ……44
江戸川乱歩・野村胡堂往復書簡―黒岩涙香本をめぐって― …… 丹羽みさと ……60

井上良夫宛江戸川乱歩書簡……落合教幸……88
編集後記……落合教幸……104

第十一号（二〇一四年九月）

［口絵］江戸川乱歩旧蔵書より、フィルポッツ、井上良夫関連図書
啄木短歌における大衆性について― ……太田　登……2
吉永小百合主演映画とベテラン俳優宇野重吉の役割―「愛と死をみつめて」（昭和三九）の場合を中心として
……藤井淑禎……12
戦後日本における海外短波放送のリスナー……井川充雄……21
文学の中の「骨相学」―夢野久作『ドグラ・マグラ』から……鈴木優作……32
沖野岩三郎の＜実話もの童話＞……六川綾夏……40
『貼雑年譜』に見る江戸川乱歩と山手樹一郎の交流……影山　亮……49
井上良夫宛江戸川乱歩書簡（2）……落合教幸……59
編集後記……落合教幸……80

第十二号（二〇一五年三月）

［口絵］旧小中野遊郭の新むつ旅館（新陸奥楼）……渡辺憲司
職業作家・松本清張の出発―全集未収録小説「女に憑かれた男」、「渓流」を読む―
……石川　巧……2
日本統治時代の台湾におけるラジオ体操……井川充雄……21
松本清張と「連環画」との遭遇―イメージの増殖と変容― ……尹　芷汐……35
「蛇性の婬」における雄黄について……相馬真理子……51
旧制茨木中学校における一九二〇年のストライキと大宅壮一……阪本博志……61
翻刻「恐ろしき錯誤」草稿……落合教幸……83
編集後記……落合教幸……111

第十三号（二〇一五年九月）

［口絵］戦後池袋
乱歩邸の旧所有者坂一族について……藤井淑禎……2
巨大ターミナル池袋の変遷とゆくえ……古田土紗季……9
戦後池袋演劇史―アバンギャルドと池袋文化劇場―……後藤隆基……31
昭和二十年、罹災直後の数通の手紙―江戸川乱歩の空襲体験― ……落合教幸……51
編集後記……落合教幸……77

第十四号（二〇一六年三月）

[口絵]戦後池袋　ヤミ市から自由文化都市へ
「戦後池袋―ヤミ市から自由文化都市へ―」展示企画展報告 …… 石川　巧 ……2
「不滅の江戸川乱歩展」報告…… 北村一男 …… 21
秋の収蔵資料展「池袋ヤミ市と戦後の復興」について …… 横山恵美 ……25
「池袋＝自由文化都市プロジェクト」における立教学院展示館の展示について
…… 豊田雅幸 …… 31
池袋の戦後史をめぐる＜場＞とにぎわいの創出
―「池袋＝自由文化都市プロジェクト」にみる大学の地域連携の道筋―…… 後藤隆基 ……45
旧江戸川乱歩邸特別公開―《池袋＝自由文化都市プロジェクト》― …… 落合教幸 ……57
鏡地獄―江戸川乱歩「鏡地獄」戦後改稿版― …… 落合教幸 …… 61
編集後記…… 落合教幸 ……89

第十五号（二〇一六年十二月）

[口絵]江戸川乱歩の創作ノート（昭和三十年）
戦後池袋の娯楽文化とロサ会館 …… 伊部知顕 ……2
都市における地域学としての「池袋学」の可能性（一）―立教大学と東京芸術劇場による地域連携の実践―
……後藤隆基 …… 17
飢えと混乱を生きること―梅崎春生「飢えの季節」論―…… 渡部裕太 ……35
江戸川乱歩の創作ノート（昭和三十年）―「化人幻戯」「影男」「月と手袋」『十字路』と少年探偵―
……落合教幸 ……55
編集後記…… 落合教幸 ……88

第十六号（二〇一七年三月）

[口絵]二〇一六年の江戸川乱歩関連展示／仁木悦子資料
【二〇一六年の江戸川乱歩関連展示】
江戸川乱歩、巴里にやって来た。…… ジェラルド・プルー ……3
異なるジャンル、共通する感覚―萩原朔太郎生誕百三十年記念・前橋文学館特別企画展 …「パノラマ・ジオラマ・
グロテスク―江戸川乱歩と萩原朔太郎」を開催して―……津島千絵 ……9
特別展「ビブリア古書堂の事件手帖」を開催して …… 小田島一弘 …… 16
「日本ミステリー文学展～藤田宜永からの招待状～」を振り返って　尾崎秀甫 ……20
解放後の韓国における大衆芸能に関する一考察―薬売り・パルタル・女性芸能団体の再評価―
…… 神野知恵 ……25
カルチュラル・アサイラム―中国インディペンデント・ドキュメンタリーの透明な砦―

……秋山珠子……37
大正末期から昭和初期における探偵小説と演劇の交差―江戸川乱歩宛長谷川伸書簡群を視座として―
……後藤隆基……53
仁木悦子・江戸川乱歩書簡……落合教幸……97
編集後記……落合教幸……112

第十七号（二〇一八年一月）

『高見順全集』未収録小説・「眞砂子」の紹介・解題……松本和也……2
江戸川乱歩　未発表小説草稿「ダアヰン氏小瘤」翻刻および解題…落合教幸……19
華人文化圏に広がる新劇―オスカー・ワイルド『ウィンダミア夫人の扇』を例に―
……鈴木直子……35
江戸川乱歩自筆稿本『家蔵同性愛関係書』目録　1―日本之部―…丹羽みさと……43
編集後記……（N）……83

第十八号（二〇一八年三月）

＜天才＞と＜犯罪者＞のあいだ―大正期谷崎作品の人物造型をめぐって―
……金子明雄……2
一九五〇年代における雑誌『明星』の連載小説とそのメディアタイアップ展開
（付・一九五〇年代『明星』連載小説一覧）……阪本博志……17
遠藤周作の新発見資料「アフリカの體臭」について……杉本佳奈……37
江戸川乱歩自筆稿本『家蔵同性愛関係』目録　2
―和本目録、洋書目録、西洋に関するもの、東洋に関するもの―…丹羽みさと……47
編集後記……（N）……69

第十九号（二〇一八年十月）

近世の俗文芸と「お竹大日」伝承―文化文政期を中心に―……神林尚子……2
日本統治下台湾における時差撤廃とラジオ……井川充雄……19
戦時下の北京における出版物取締と雑誌『月刊毎日』……石川　巧……33
まなざしへの抵抗―岡崎京子『ヘルタースケルター』論―……村松まりあ……53
「ナイフ」の向かう先―江戸川乱歩「人間椅子」試論―……入山洸希……77
『＜ヤミ市＞文化論』書評―眩しい都市―……川崎賢子……93
パネル発表「江戸川乱歩所蔵資料の活用による探偵小説研究」の発表報告……97
編集後記……（K）……101

第二十号（二〇一九年三月）

豊子愷の「詩画」意識と「黒画」批判……南雲大悟……2
演歌は「演じる歌」か？―近代日本における大衆音楽と上演文化のミッシング・リンク―
……輪島裕介……19
「黒蜥蜴」の表象をめぐって―江戸川乱歩『黒蜥蜴』論―……海老澤彩香……40
挿絵画家としての中村研一―「海燕」「女の一生」「春の行列」「花と兵隊」―
……松本和也……56
江戸川乱歩旧蔵『古版奇術書』同梱資料―山本慶一宛・乱歩発書簡控えを中心に―
……米山大樹……75
編集後記……（N）……91

第二十一号（二〇一九年十月）

座談会「新派百三十年とその未来」
喜多村緑郎／河合雪之丞／齋藤雅文／神山　彰（司会）……2
憧れを抱いて芽吹く―大石真「教室二〇五号」論―……石橋　剛……23
夢野久作の受験生時代とその交友……川下俊文……41
植民地朝鮮の「孤立」された作家金来成と江戸川乱歩……姜　泰雄……71
覗かれるもの／覗くもの―「押絵と旅する男」再考―……丹羽みさと……85
編集後記……（N）……101

第二十二号（二〇二〇年三月）

佐野史郎氏特別講演記録「乱歩と戦争」佐野史郎／細井尚子／金子明雄（司会）……2
侍と探偵の蜜月―大衆文学ジャンルの再編成における捕物帳―……影山　亮……20
新派と歌舞伎のあいだ―五代目中村芝翫の家庭小説劇をめぐって―　金子　明雄……42
語る＜女＞と語られる＜女たち＞―永井荷風『つゆのあとさき』における語り論―
……金田みか……58
ハイジンの行方―江戸川乱歩「二癈人」論―……出口　歩……76
旅立つ「兄」―江戸川乱歩「押絵と旅する男」論―……横田　遼……93
翻刻「経済学と心理学との関係を論ず。」……松本陸杜……113
編集後記……（N）……130

第二十三号（二〇二〇年九月）

艶めかしき怪談―江戸川乱歩「人でなしの恋」論（上）―……石川　巧……2

江戸川乱歩「孤島の鬼」の着想を巡って……小松史生子 ……20
岸田國士「かへらじと」を読む―移動演劇の作劇術― ……松本和也 ……37
「Pink」から『pink』へ―岡崎京子『pink』論― ……村松まりあ……55
編集後記……(N) ……70

第二十四号(二〇二一年三月)

艶めかしき怪談―江戸川乱歩「人でなしの恋」論(下)―……石川　巧 ……2
犯罪・活動写真・探偵小説―ジゴマ騒動と犯罪フィクションをめぐる言説の再配置―
……井川　理 …… 18
撞着する思想と形式―夢野久作『ドグラ・マグラ』を中心として―…… 松田祥平 ……37
占領下の時代小説ジャンルにおける＜新古交代＞言説……影山　亮 ……52
不可視化される占領と強調される戦争体験の残存性―野間宏『崩解感覚』論― ……
……秀島希望 ……72
江戸川乱歩旧蔵資料にみる探偵作家クラブの出発―「レヴュー殺人事件」脚本と乱歩直筆原案を調査する―
……米山大樹 ……88
編集後記……(N) ……112

第二十五号(二〇二一年九月)

明治末年における西洋美術受容・再考―言説上の印象派(インプレッショニズム)・後期印象派(ポスト・インプレッショニズム)―
……松本和也 …… 2
レジス・メサックの博士論文とヴァルター・ベンヤミン―探偵小説の起源をめぐって―
……槙野佳奈子…… 20
占領を解かれた「宮本武蔵」―新国劇版ラジオドラマを読む(一)……石川　巧 …… 34
戦後の宝塚歌劇―植田紳爾の仕事から見る― ……王　楽水 …… 52
境界としての「からだ」―井上ひさし『シャンハイムーン』論― ……牛　路遥 ……71
編集後記……川崎賢子 ……87

第二十六号(二〇二二年三月)

占領を解かれた「宮本武蔵」―新国劇版ラジオドラマを読む(二)　承前
……石川　巧 ……2
江戸川乱歩「屋根裏の散歩者」完成地における信仰の様態―三重県亀山市関町岩屋観音をめぐって－
……宮本和歌子 …… 17
童謡はなぜ＜怖い＞のか―言説の背景とその機能について―……井手口彰典 ……32

影山三郎とアジア―東京帝国大学在学時と立教大学在職時をつなぐもの―
……阪本博志 …… 51
『新青年』研究後悔記……浜田雄介 ……66
勉誠出版『江戸川乱歩大事典』書評―江戸川乱歩研究の基盤構築―宮本和歌子 ……88
翻刻「恐ろしき錯誤プロット」……塩井祥子 ……93
江戸川乱歩の土蔵内洋書目録―蔵書印のある書籍を中心に― ……宮本祐希 …… 126
編集後記……井川充雄 …… 127

第二十七号(二〇二二年九月)

江戸川乱歩「お化人形」に描かれた神戸……宮本　和歌子……2
占領を解かれた「宮本武蔵」―新国劇版ラジオドラマを読む(三)　承前―
……石川　巧 …… 21
＜枠組み＞の崩壊―井上ひさしコントの世界―……牛　路遥 …… 41
コロナ禍下における堂本光一と『Endless　SHOCK』の軌跡……後藤隆基 ……58
江戸川乱歩とコナン・ドイルの『シャーロック・ホームズ』―乱歩による翻訳と論文を中心に―
……余　玟欣 ……78
[書評]雑誌文化研究会と『大宅壮一文庫解体新書』……阪本博志 ……90
編集後記……石橋正孝 ……96

第二十八号(二〇二三年三月)

[インタビュー]乱歩×ハードロック＝人間椅子 ……和嶋慎治 ……2
湖面の恋、湖底の泥―江戸川乱歩と横溝正史、探偵作家が描く＜諏訪湖＞―
……小松史生子 …… 18
旅する乱歩―名張・鳥羽編―……丹羽みさと……34
江戸川乱歩「屋根裏の散歩者」完成地の本尊と大阪守口からの鉄道経路
―三重県亀山市関町岩屋観音をめぐって－ ……宮本和歌子 ……49
近現代日本の水上生活者研究史からわかること―「都市民俗学」と大衆文化論の接点について
……厚　香苗 ……67
江戸川乱歩旧蔵伊藤晴雨述『新派劇の責場』翻刻……後藤隆基 ……85
編集後記……野中健一 ……112

第二十九号(二〇二三年九月)

[インタビュー]乱歩の小説の謎を追いかける旅……齋藤雅文 ……2

江戸川乱歩「疑惑」における息子と父―井原西鶴「大晦日はあはぬ算用」を手がかりに―
……宮本和歌子 …… 17
生まれるための「物語」―萩尾望都「A-A´」論 ……濱下知里 ……33
江戸川乱歩自筆原稿「指」翻刻と解題 ……王　羽萌 ……53
江戸川乱歩「和本カード」目録……丹羽みさと…… 142
編集後記……細井尚子 …… 143

第三十号（二〇二四年三月）

乱歩はなぜ名張を“ふるさと”と呼んだのか―「ふるさと名張」と「わが町池袋」の出会い
……秋永正人 ……2
侵食する時間と語り―江戸川乱歩「押絵と旅する男」論― ……坂下達哉 ……25
江戸川乱歩と十七代目中村勘三郎の交流―乱歩旧蔵資料『わかなみ』第三号を読む
……後藤隆基 ……45
『大衆文化』総目次（創刊準備号～第二十九号）……69
編集後記……土居　浩 ……83

第三十一号（二〇二四年九月）

これが人生というものであったか―江戸川乱歩「毒草」論― ……栗原宗吾 ……2
競争する探偵小説―「五階の窓」における乱歩の狙い ……茂木杏樹 …… 19
昭和二年（一九二七）の江戸川乱歩―最初の休筆と放浪について―
……宮本和歌子 ……37
旅する乱歩～大島・熱海編～……丹羽みさと……55
<研究ノート>
男たちはなぜ「脱毛」するようになったのか―一九八〇年代以降の大衆雑誌をめぐる言説史研究―
……勝盛智花 ……75
<資料紹介>
江戸川乱歩未発表小説草稿「秘中の秘」翻刻と解題 ……髙野奈保 ……89
江戸川乱歩旧蔵書簡にみる乱歩と戸板康二の交流 ……後藤隆基 …… 147
編集後記……尾崎名津子

第三十二号（二〇二五年三月）

時間・増殖・腐敗―江戸川乱歩「蟲」論―……坂下達哉 ……2
刑事が主人公になるとき ……石川　巧 ……23
＜資料紹介＞
江戸川乱歩旧蔵『浮世親仁形気』について……水谷隆之 ……43

江戸川乱歩「大正四年三月の日記」翻刻……杉本佳奈 ……47
編集後記……石川　巧

第三十三号（二〇二五年九月）

アニメソングの社会的性質とその変遷
－呼称と受容層の相関に注目して― ……井手口彰典 ……2
＜資料紹介＞
江戸川乱歩の罹災体験と疎開準備……髙野奈保 ……23
―　一九四五年四月～八月付平井きく・隆宛書簡と『貼雑年譜』、『探偵小説四十年』の記述から見えるもの
【特集】
シンポジウム「『華岡青洲の妻』の継承と新生―松竹と文学座の競演」……79
有吉佐和子と小説としての『華岡青洲の妻』……金子明雄 ……82
有吉佐和子『華岡青洲の妻』の劇化上演と興行様態……後藤隆基 ……98
―東宝初演と文学座公演を中心に
座談会『華岡青洲の妻』の継承と新生 …… 122
波乃久里子/齋藤雅文/小野洋子/鵜山仁／後藤隆基（司会）
編集後記……金子明雄

第三十四号（二〇二六年三月）

雑誌『放送』誌上にみる大阪中央放送局のラジオドラマへの取り組み
－森本薫「時間について」を視座として― ……濱下知里 ……2
パラダイムが揺らぐとき……松本拓真 ……23
－村田沙耶香「信仰」におけるカルト・スピリチュアリティ・ジェンダー
＜資料紹介＞
江戸川乱歩「徹底追及者より」翻刻 ……杉本佳奈 ……43
編集後記……M

第三十五号（二〇二六年九月）

K はなぜ「奥様」を「小間使」と呼び続けるのか？
－江戸川乱歩「鏡地獄」論 ……石川巧 ……2
＜資料紹介＞
江戸川乱歩旧蔵「戦時下資料」関連資料目録・解題 ……髙野奈保 ……23
江戸川乱歩「日記帳」草稿 ……杉本佳奈 ……55
編集後記……K2